

北薩感染症情報

2025年第40週(9月29日～10月5日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

Eメール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	注意報レベル基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	284	221	73.67	↓	-	97	106	53.00	↗	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	19	15	5.00	↓	-	2	2	1.00	→	-
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	40	20	6.67	↓	-	23	16	8.00	↓	-
小児科定点	RS	-	-	-	4	3	1.50	↓	-	3	5	5.00	↗	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	1	2	1.00	↗	-	-	-	-	→	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	1	3	1.50	↗	-	2	2	2.00	→	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	4	8	4.00	↗	-	-	-	-	→	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	2	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	1	7	3.50	↗	◎	1	1	1.00	→	◎
	突発性発疹	-	-	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	2	2.00	→	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
指定医療機関からの COVID-19入院報告	-	-	-	2	-	-	↓	-	2	1	-	↓	-	
報告数合計	-	-	-	360	281	-	↓	-	131	133	-	↗	-	

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 伝染性紅斑(警報レベル)
- ・出水保健所管内 伝染性紅斑(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 百日咳1件
- ・出水保健所管内 百日咳1件

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中

注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				31W	32W	33W	34W	35W	36W	37W	38W	39W	40W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	92.33	90.00	31.00	86.67	89.00	90.67	102.00	86.00	94.67	73.67
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	0.67	0.33	5.33	22.00	37.67	17.33	6.33	5.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	17.67	19.33	12.67	26.00	18.67	20.33	19.00	12.00	13.33	6.67
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.50	—	1.00	3.00	3.50	6.00	2.00	—	2.00	1.50
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	1.00	—	0.50	0.50	—	—	0.50	0.50	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	1.00	0.50	—	0.50	—	2.00	—	0.50	1.50
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	4.00	7.00	3.00	1.00	8.00	2.00	5.50	0.50	2.00	4.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	0.50	1.00	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	8.50	—	1.00	0.50	—	1.00	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	0.50	—	0.50	1.50	1.00	2.00	0.50	3.50
	突発性発疹	—	—	—	—	—	1.50	0.50	0.50	2.00	—	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	4.50	1.50	1.00	0.50	—	—	0.50	—	—	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	1.00	2.00	3.00	4.00	2.00	3.00	2.00	1.00	2.00	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				31W	32W	33W	34W	35W	36W	37W	38W	39W	40W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	28.00	37.00	21.50	41.50	58.50	41.50	53.00	62.50	48.50	53.00
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	—	—	—	1.50	—	0.50	1.00	1.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	4.00	5.50	3.00	12.50	17.00	14.50	9.50	18.50	11.50	8.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	1.00	—	—	—	1.00	5.00	3.00	3.00	5.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	1.00	1.00	—	—	1.00	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.00	5.00	4.00	2.00	3.00	3.00	4.00	3.00	2.00	2.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	—	1.00	1.00	1.00	—	—	2.00	—	—
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	2.00	—	1.00	1.00	4.00	—	2.00	5.00	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	1.00	1.00	4.00	2.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00
	突発性発疹	—	—	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	12.00	6.00	1.00	2.00	3.00	2.00	—	1.00	—	—
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	2.00	—	—	—	1.00	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第40週において、川薩および出水保健所管内では伝染性紅斑の報告数が警報レベルに達しています。

インフルエンザや新型コロナウイルス、RSウイルス感染症、伝染性紅斑の報告が増加、多い状況です。基本的な感染対策を行い、感染を拡げないようにしましょう！

川薩保健所及び出水保健所管内で 伝染性紅斑(リンゴ病)の流行発生警報が発令中です！



伝染性紅斑とは

小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

原因:ヒトパルボウイルスB19による感染症

症状:微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しんが現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失します。

妊娠中または妊娠の可能性がある方

これまで伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関へ相談してください。



感染経路・予防方法

感染した人の咳のしぶきを吸い込むことによる飛沫感染や感染者と接触したりすることによる接触感染があります。微熱やかぜのような症状がみられる時期にウイルスの排出量が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。手洗いやマスクの着用などの基本的な感染予防を行いましょう。

でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状
この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください



RSウイルス感染症について



RSウイルス感染症について

RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。RSウイルスは年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

症状について

潜伏期は2～8日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症状が数日続きその後、場合によっては、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てきます。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。

慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者や免疫不全者では、重症化するリスクがあることが知られており、注意が必要です。



感染経路について

RSウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。



予防・対策について

日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒し、流水・石鹼による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生を行うことが重要です。また、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクを使用することや、手洗いや手指衛生といった基本的な対策の徹底を行うことが大切です。



RSウイルス感染症

に注意しましょう

こんな症状がみられます



鼻水



せき



発熱

かぜのような症状が数日続き、多くは軽症で回復しますが、重症化した場合は、**細気管支炎、肺炎**などを起こします。

生後6ヵ月以内の新生児・乳児への感染や、低出生体重児、心臓・肺・神経・筋肉などに基礎疾患がある場合や免疫不全がある場合などには重症化の可能性が高まります。

流行時期

初夏ごろから継続して増加し、夏にピークになります。

感染経路

飛まつ

接触

2歳までにほぼ全員が、少なくとも一度は感染します。

こんな時は

機嫌がよく、つらそうでなければ、あわてずに様子を見て、かかりつけ医にご相談ください。呼吸が苦しそう、食事や水分摂取ができない時は医療機関への受診をご検討ください。

受診を要した場合や夜間・休日の場合は、「こどもの急患」などのWebサイトを確認したり、**38000(こども医療相談専用)**にご連絡ください。



こどもの急患

予防

水と石けんでの手洗い



手やおもちゃなどのアルコール消毒

症状がある時は可能な範囲でマスク着用



こどもを感染症から守るために、家族や周囲のおとなもしっかりと予防しましょう。

生まれてくる子の予防を目的に妊婦に接種するワクチンが標準接種されています。詳細については、医師にご相談ください。また、高齢者が感染すると重症化することがありますので注意してください。

詳しくは、RSウイルス感染症Q&Aをご覧ください

